滿洲日報

（第三種郵便物認可）

發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社
定價 一ヶ月 金一圓二十錢　郵稅 金十五錢　一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢　特別一行 金二圓六十錢　場所指定 二割以上加算

各戶日章旗を揭げて皇軍の入城歡迎

平和境を現出した錦州の長閑さ

三日錦州にて　藤井特派員發

三日午前十一時四十分第〇〇師團司令部の列車に便乘して錦州に入城した記者（藤井特派員）は洋車に乘つて直に錦州市中を見廻つた**一兵をも損せず一彈をも交へず平和裡に入城せるだけに支那住民も何ら恐怖の色なく我等を迎へた**歡迎と記した腕章を附した接待員等は欣々として我等を迎へ城內に入れば各戶日章旗を揭げ、**官吏初め平生排日行爲に狂奔した知識階級は家を閉ぢ逃亡してゐるが**善良なる商戶は皇軍の軍規嚴肅なるに安んじて家を開けてゐる、行商の支那人連はわれ關せず焉と呼賣してゐる、その香氣な顏色を見れば何の不安もない長閑かなものだ、珍しい自動車やオートバイの爆音に子供や苦力等が物見高に群がり集ふ樣を見れば動亂の根據地「錦州の姿」は何處へやら不思議な位だ、敵軍參謀長榮臻が六萬の大兵を擁し尨大な軍資を貪ひ、滿洲擾亂の因をなせる我等の概念「錦州」とは似もつかぬ土埃にまみれた住民の顏には平和と善良とが漂ふてゐる、誠に**惡虐なる張家軍閥去つた後の錦州はたゞ善良なる住民の業に安んずる平和境である、**住民六萬、朝陽支線への乘換驛に來て錦州政府の所在地なりし此處錦州は奉天以西唯一の大都市だ、この町は眞に黃塵萬丈土埃が多い、町は舟形の城壁を以て圍まれ城內城壁は風雨に崩れ古都の奧床しさを保つてゐる、嗚呼思へば記者は第十五旅團下杜大隊と共に田庄臺兵匪の襲擊、血と銃彈の中に一夜を明し、その後は多門師團に隨ひ、雪中行軍三十里、途中將士と共に雪を嚙みつゝ饑をしのぎ、藁を燃やして酷寒廿五度餘の夜寒と戰つた、溝帮子より多門師團と別れて二十師團に隨つて錦州入り、三日午前十時四十分「錦縣」と書いた驛標識を見た時、事變後三個月半幾百度か口に叫んだ錦州の地を目のあたりに見て感慨無量であつた【奉天電話】

敵若し對陣せば大激戰だつたが

と室師團長上機嫌

三日午前中に錦州に入城したわが軍は直に市中警備のため各所の配備に就いたが驛前の師團司令部に入城の賀詞を述べるため室師團長を訪へば折柄漸く落着いた中將は依田第〇〇旅團長、嘉村第〇〇旅團長と晝食をとつてゐたが「君等も御苦勞だつた」と上機嫌で語る

滯なく這入れたのは何よりだ、ようするにわが軍が大部隊で入城したから敵もどうせ駄目だと諦めをつけて逃げたのだらうがこれを見てもわが軍が腰を強くしてやらなければ何事も駄目だと氣がつくだらう、**大凌河の防備施設も見たがあれに對陣するつもりなら相當大きな戰鬪になつたらう** これから先のことは軍司令部の命を待つてやるのだがそれまでは待機だ

傍にゐた森參謀長までが嬉ぎ氣味で君、孫子の兵法の通り兵を損せずして勝つのが戰の最も上の上たるものだ、錦州軍は皆關外に逃げて仕舞つて今日のところ敵は一兵もないからられと司令部は活氣物凄いばかりだ

嚴肅な軍規で治安保たる

三日午前わが軍が錦州に入城せる時、錦州軍は既に三十一日中全部關內に逃亡し、三日には公安局長齊憲庭は既に逃亡して錦州にゐなかつた、縣知事谷金聲は官舍に居つたが目下わが軍の手により保護

中、錦州軍逃亡後一日夜は錦州在留の支那官吏幹部は全部逃亡したため錦州城內極度に混亂動搖したが二日は幾分落着き三日はわが軍の入城と共に軍閥の手を遁れた住民はわが軍規の嚴肅なるに初めて落着き三日より錦州の治安は完全に保たれることになつた

第〇師團の管下各隊

原隊歸還開始

【溝帮子三日發】滿洲事變勃發以來各所に轉戰赫々たる武勳を樹て茲に最後の目標たる錦州討伐完了し張學良勢力を完全に關內に驅逐せる多門第〇師團管下の各隊は本日歸還命令が發せられ第〇〇聯隊を眞先に溝帮子より河北驛經由續々原隊に歸還することゝなつた

寫眞　上は三日夜ヤマトホテルに於ける大連市民歡迎會席上の南大將、下はばいかる丸船上の同大將

時局後援會南大將と會見

時局後援會代表石本鏆太郎氏、齋藤藤太郎氏、大內成美氏、岩井勘六氏、寶性確成氏、松山忠二郎氏、恩田熊壽郎氏、小澤太兵衞氏は歡迎會に先立ち三日午後五時半よりヤマトホテルに於て南大將と會見滿洲總督制問題、滿洲獨立國問題に就いて懇談する所あつた

南大將離連

多數の市民に見送られ大ニコ／＼の態で

南北滿洲各地の狀況視察中であつた軍事參議官前陸相南次郎大將は河邊參謀、河添副官を伴ひ四日大連出帆のばいかる丸で歸國の途についたが埠頭には小川市長、辛島民政署長、滿鐵竹中理事、中谷警務局長はじめ官民各方面多數の見送りがあつた、時しも四日のばいかる丸は新入營兵諸君の乘船が多くこれ等の見送人も殺到して「南閣下萬歲」の聲は朝の大連港頭に勇ましく響くのであつた、出帆を前にサロンに一息ついた南大將は離滿に際しての感想を語る

この天氣の好い日に無事歸國の途につけることは心から嬉しい滿洲視察中各方面から非常な歡迎を受けまた各種の事情について說明を聞くことが出來得るところが多かつた、今や滿洲に働いてゐる軍隊に對し官民各位が熱誠のこもつた援助を與へて下さつてゐることは感謝に堪へぬ私は長春、吉林、奉天その他支那の主だつた人々に會ひ滿洲の治安維持に對し日支協力の實情を視ることが出來て非常に滿足に思つてゐる、滯滿中に錦州の兵匪が片附いたことも嬉しい一つだ、最後に在滿中各方面から與へられた御厚意に對しては心から感謝するところである、貴紙を通じ在滿各位によろしく御傳へを願ひたい

反英抗爭聲明のガンヂー氏捕はる

引續き國民會議派の首腦者等既に數名逮捕さる

【ボンベイ三日發至急報】ガンヂー氏は本日遂に逮捕された今後の形勢を憂慮されてゐる聖雄ガンヂーの逮捕に引續き全印國民會議長パーテル氏もまた逮捕された、斯くして曩に逮捕された青年印度の總帥ニール氏と共に國民會議派首腦者の逮捕されるもの既に數名に上つた

【ボンベイ三日發】對英反抗を聲明して印度總督ウイリンドン卿に最後の通牒的聲明を叩き附けたガンヂーは三日夜當地よりアーメダバードに向ふ途中英國官憲のために逮捕せられるであらう

【ボンベイ三日發】反英抗爭を聲明したガンヂー氏は前印度總督アーウィン卿に對し「余は最善をつくしたが失敗した」との電報を發し且つ新聞記者との會見で左の如く聲明した

余は今次反英、不服從運動の再燃の結果に對して全幅の責任を負ふものである、また抗爭をして非暴動的のものとして指導するために余はあらゆる努力を拂ふであらう、この抗爭はおそらく數年續くものと期待して居る【寫眞はガンヂー氏】

經濟上重要なる新國家建設の意義

滿鐵理事　伍堂卓雄

東洋平和永遠の基礎確立と、文化の健全な發達を遂げしめるには、滿蒙獨立の他ないことはつとに一般識者の充分にこれを認めてゐるところであるが、今回の事變が動機となり、これが實現の機運を釀成してゐる點は單に日本の生存權のみならず東洋平和のため誠に慶賀に堪へぬことである、そしてこの滿洲獨立國家建設には二つの重大な意義がある、一は政治的意義であり、二は經濟的意義である

政治的に見れば東洋平和を攪亂する大きな問題はロシアから來る赤化の魔手でこれを防止するのにはどうしてもシベリヤに接續する所に緩衝地帶の必要がある、つまり日本並に支那の中間に一つの緩衝地帶があつてこれが赤化防止の役割をせねばならぬのである

次に經濟的方面について見れば日本が年來中外に聲明してゐる滿洲の門戶を開放して經濟的に機會均等を實現させるためには獨立國家としてもつと積極的に日本が經濟的に指導せねばならぬ、また他の方面から見ると自分の觀察するところでは世界は三つの經濟勢力によつて支配されるのぢやないかと思ふ、卽ちアメリカ、ヨーロッパ東洋の三つである

歐洲戰役後旣に歐洲は各國の經濟的難局を打開するためにカルテル組織を實現するとか、將來關稅同盟を作るとか、種々な方法によつてアメリカ經濟勢力への對抗の機運に進みつゝある、なほこの他に今一つ對立すべきものは東洋に起るべきものだと思ふ、それは前にもいつた通りである、而してこれ等經濟力の基礎をなすものは勿論工業資源でなければならぬ、試みに今この三大經濟勢力內における鐵鑛、石炭、石油の資源について比較をしてみやう

鐵鑛 鐵鑛については東洋の一に對しアメリカ二・七歐洲および其屬領は一二・〇となる、こゝにいふ東洋とは日本、支那シベリア、マレイ半島、アメリカとは北米合衆國だけ、歐洲及其屬領とは歐洲、ニューファンウドランド、アフリカ、印度を指すものである

石炭 石炭については東洋の一に對し米二・九歐洲及屬領一八となる、こゝに東洋とは日本支那、シベリヤ、印度支那、アメリカとは北米合衆國だけ、歐洲及其屬領とは歐洲カナダ、アフリカ、印度、濠洲を指すものである

石油 石油については東洋の一に對し米一・四歐洲及其屬領並に勢力範圍二・四となる、こゝに東洋とは日本、支那、東印度、北ロシア、樺太、アメリカとは北米合衆國、アラスカ、歐洲及其屬領並に勢力範圍とは歐洲、カナダ、アフリカ、コーカサス、ペルシヤ、メソポタミヤ印度を指すものである

かくの如く三大勢力と比較すると東洋は著るしく劣勢であることが判明するが、今日の文獻に現れたものではシベリア、滿蒙には調査の行屆かぬ卽ち未知のものが相當多くあると思ふ、これを本當に調査すれば米、歐洲に比して優勢になるかも知れぬ、かくしてかくの如き三大勢力が對立すれば東洋經濟勢力の中心は日本となり日本はこの指導者となつて東洋經濟勢力の改善に努めねばならぬと思ふ、なほ其具體的方法として滿蒙の經濟大綱について考ふべきことは次の四點ではあるまいか

一、資源開發の促進
二、日支經濟協力の原則
三、日滿間の關稅障壁撤廢
四、進んで日支間の關稅同盟

武裝を解除し通信通話を嚴禁

錦州治安維持の應急措置と室師團長の佈告

【錦州立上特派員三日發】室第〇〇師團長は錦州到着と同時に保安隊及び自警團の武裝解除を命じ左記の如く布告した

一、治安維持のためわが軍は電燈廠、電信電話兩局及び公安隊の建物を占據し遠距離の通信通話を一時中止す
一、縣署及び縣長住宅を占據す
一、安寧維持をなす宣傳は日本軍司令部において指示す
一、武器彈藥は速に差出すべし、差出したるものは相當の價格を以てこれを購入し差出さゞるものは匪賊と見做す

また同司令部では戶並支隊に連山關、山海關、胡廬島等の無電を監理せしめ東地區警備司令に嘉村少將、西地區警備司令に依田少將東部兵站部隊は池田大佐列車部隊は中原中佐夫々主宰すべく任命された

本年開催の國際諸會議

一九三二年の行事

【東京二日發】一九三二年中に於ける日本關係の國際諸會議は先づ一月二十五日ジュネーヴに開かれる**第六十六回國際聯盟理事會**から始まる、此の理事會では二月二日から開かれる一般軍縮會議の準備會議が主題となるものと豫想されるが滿洲事變を中心とした論議も可成り行はれるものと思はれる、特にこの理事會では聯盟より派遣される滿洲事變に關する調查員の正式任命が行はれる筈であるから我國としても相當注目に値するものがある、次で開かれるのは聯盟主催のもとに二月二日開會の**軍縮會議**である、今回の軍縮會議は陸海空の三軍に亘り聯盟國非聯盟國取まぜて五十三國の代表がジュネーヴに參集すると云ふ未曾有の國際大會議であつて問題の複雜至難なる事は先のロンドン會議、ワシントン會議、ジュネーヴ會議との比ではない、更に四月には**第十六回國際勞働會議**とホノルヽに**太平洋貿易會議**とが開かれる、八月にはパリで第四回世界電氣會議が開かれる、又同月中にウイーンで**第六回國際優生學界大會**が開かれる十一月にはワシントンで**世界宗教平和會議**が開かれる我國では目下の處今年中に國際會議開催の豫定はない

外交委員會廢止

陳氏一切を處理

【上海三日發】陳友仁は外交部長就任と共に昨日特別外交委員會を廢止し一切の外交は陳友仁自身の手で處理する旨公表した

皇軍主力三日午前十時錦州入城、之れで關外の治安妨害者は大體に剿滅、しかも一彈も費さず一兵に觸らず。

◇

我皇の御稜威我軍の威力には、匪賊抵抗の勇氣なきも尤も、これで愈々軍事行動の一段落、目出度正月三日。

◇

此一段落を祝賀する大連市民の旗行列、正月四日各界老若男女を合集した一大デモンストレーション、忠靈塔より市街に溢りて人の海旗の波。

◇

學良一派、中央に不平、怨言を陳ぬ、始めからあてにしたのが間違ひ。

◇

但怨言は、之れをキッカケに、北方將領を糾合して中央に弓引く口實、其弓の强さ如何。

◇

陳新任外交部長、特別外交委員會を廢止し、一切の外交を自身で處理せんとす、見上げた勇氣。

◇

ハルビンに於ける、支那軍警と露人との衝突は意外の慘事、素質低惡の支那官憲此處にも國際問題を起す。

はるびん丸船客

【門司特電四日發】五日大連入港豫定はるびん丸の主なる船客諸氏
法學博士市村富久、法政大學敎授小島清一、支那新聞社長大竹幸作、滿鐵商事部次長谷川善次郎、野中修、竹內省三、稻村盛紀一郞青山

はるびん丸 五日午前十一時大連港外着の豫定

人事

▲南次郎氏（陸軍大將）四日出帆ばいかる丸にて內地へ
▲河邊虎四郎氏（陸軍中佐）同上
▲河添連氏（陸軍大尉）同上
▲上原進氏（法律時報社主幹）同上
▲高岡又一郎氏（土木建築請負）同上
▲佐藤基氏（滿洲警察官慰問使）同上

東亞の謎（165）

國枝史郎
挿畫　伊藤順三

黃帮の巢窟（五）

得意の武村は能勢につゞけた。

「頭目巴林はお多分に洩れず、さよう蒙古人のお多分に洩れず、さても女が好きなんで。小夜子を見るともう涎でさ。が、小夜子はやれませんや。ありや今も云つたとほり、私が直にも退治るんですからねえ。そこで洋子さんといふことになる」

武村は此處で復笑つた。いやらしい慘忍な笑ひ方であつた。

「ところで私は云つて置きますがね、貴郎よりも擬ろ紳士ですぜ。禮儀といふものを知つてゐますさあ。たとへばですねえ、先刻貴郎は、私をひどいめにふん縛りましたよ。まるで泥棒か人殺しかのやうに。が、私はそんなことはしない。ね、貴郎を縛りはしない。ちやアんと自由にさせてゐる。貴族を尊敬してゐるからでさあ。……で、私はかう云ひませう「一筆洋子さんへ手紙をお書きなさい」つて。……此處へ來るやうに書くんでさあ。そいつを私から此處の奴に持たせ、晉軍領域へやりませう。此處の連中と彼處の連中とはずつと前から仲がいゝので、自由に城內へ行けるんで。ナーニ騷動は今日や明日に、片つきつこはありませんや。まだ／＼戰爭は續きまさあ。ドサクサ紛れに貴郎の手紙を、洋子さんの手へ渡させませう、兄さん思ひの洋さんだ、來いと手紙に書いてありさへすれば、乾度やつて來るでせう。馬で、馬も此方からやります。……で、洋子さんがやつて來る、頭目巴林に獻上する、ウフ、巴林め嬉しがりますぜ。そこで貴郎は命が助かる。助かるどころか賓客にされる。大變可いぢやアありませんか。……が、今も云つた通り、私は紳士だから無理にとは云はない。貴郎の自由意志に任せる。……併ししもし不承知だといふことになると、貴郎は沙漠の砂の濃で、洗禮されなけりやアなりません。砂の濃の洗禮！ようござんすか！こいつは迚も凄いもので、私にしてからがあいつのことを思ふと、今にも窒息しさうなんで」

武村は三本目の煙草を喫つた。さうして圖太い陰險な眼付で、ジロリ／＼と伯を眺めた。

しかし伯は平然としてゐた。少くとも平然とした態度をしてゐた。

手紙を書くといふやうなことは全然伯の眼中になかつた。

どうしたら武村に一擊を喰らはせ、小夜子を奪つて遁れ出られるか？それを心中で考へてゐた。

ピストルは內ポケットに藏つてあつた。が、出すことは出來なかつた。ちよつとでもそんなやうな氣勢を見せたら、銃を構へてゐる二人の蒙古人が、その銃を卽座に發すだらう。（此方の命の方があぶないくらゐだ）

伯は無言をつゞけてゐたが

「小夜子は一體どこにゐるのかね？」

何氣無いやうに訊いて見た。

「此處にだつて人質藏はあるのですよ。……ひどく規模は小さいんですがね。……そこにゐるかも知れませんなあ」

人事のやうに武村は云つた。

「ひよつとかすると次の部屋の、ベットにゐるかもしれませんよ」

嘲るやうに武村は云つた。

「何しろ巴林の奴小夜子を見ると眼の色を變へて了つたんですからね。いや蒙古人と來た日には、まるで好色の化物ですからなあ。うつかりしては居られませんや。……おや、その巴林がやつて來たやうだぞ」

二人の男と一人の女とを連れて巴林が正面の出入口から、ムッツリとして這入つて來た。蒙古女は捧げるやうにして、阿片の道具を持つてゐた。

たゞ感激の渦々々……

皇軍の錦州入城を祝して

集まる二萬の大衆、蜿々廿餘町

けふ大連の大旗行列

皇軍の錦州入城を祝しもさらに戰線將士の士氣を鼓舞すべく在滿日本人時局後援會主催の大連市民旗行列は日本晴れの四日午後一時から

熱狂裡

に擧行された、この日稀な暖かさに惠まれた中央公園忠靈塔下をさして陸續さして集合する各團體、一般市民は引きも切らず、定刻近くには赤誠溢るゝ約二萬の愛國者で詰められ、春風の如き暖かい風に和かになびく「錦州入城を祝す」「排國際的干涉」「打倒張學良」等々墨痕鮮かに銘記した數十旒の長旗、色とりどりの團旗、小學生が打ちふる小旗で忠靈塔下はさながら五色の

錦繪の

如く、この壯觀この感激、日本人ならでは味はへぬ血湧き肉躍るの光景だ、かくて定刻午後一時總指揮者岩井少將の力強き「氣を付け」「敬禮」の號令で幾萬民衆は忠靈塔に向つて最敬禮をなし、日本晴の大空高く炸裂する煙火三發を合圖に馬上豐な岩井總指揮者を先頭とし壯烈な樂隊の音に歩調を合せて後援會本部、少年團、青訓、各小學校、各女學校、在鄕軍人、各中等學校その他團體の行進順序、これに一般市民續いて一大デモンストレーションのスタートが切られた、蜿々廿餘町にわたる

長蛇の

列は公園正門から壹岐町、西廣場、濱速町、東公園町、大廣場を大連神社に行進するのであるが、沿道には人垣を作り老も若きも熱狂裡にこれを見送り、市中はさながら人と旗とに埋められた【午後二時記】

李王世子殿下　けふ御命名式

玖殿下と申上ぐ

【東京四日發】舊臘二十九日御誕生あらせられた李王世子殿下御命名式は御七夜の一月四日麴町紀尾井町の御殿で行はせられ御父垠殿下親しく玖殿下と御命名遊ばされた

永山旅順市長祝電

皇軍の錦州入城の報に接し旅順市長は四日午後二時本庄軍司令官に對し左の祝電を送つた
市民を代表し茲に謹んで皇軍の……

錦州入城を祝す、市は明五日午後一時より右祝賀のため旗行列を行ふ、謹て各部隊長へ御傳へを願ふ

忠靈塔前に參集した大連市民

(下)は先頭の出發

錦州入城を祝し　花電車運轉

けふ日沒から十時迄

滿電では皇軍の錦州入城を祝して四日日沒から十時までイルミネーションで飾り立てた花電車を運轉することゝなつたが系統は三、四號系二臺、二、七號系一臺である

「けふの勅諭下賜　五十周年記念日」

優渥なる勅語を賜ふ

【東京四日發】本四日は勅諭五十周年に當るので大角、荒木兩相は午前十時宮中東一ノ間における政始めの儀終了後表内謁見所にて元帥閑院宮殿下御參列（東鄕、上原兩元帥不參）奈良武官長侍立のうへ天皇陛下に拜謁仰付けられ、大角海相より陸海軍大臣の名で陸海軍人が聖諭を奉體し益々奉公の途に精進陛下の信倚に應へ奉らん事を誓ふ誓書を恭しく捧呈したるに陛下には畏くも陸海軍々人に優渥なる勅語を賜ひこれに對し大角、荒木兩相は謹んで奉答文を捧讀しこれを捧呈し十一時十五分御前を退下した

陸相の奉答文

勅諭拜受の五十周年にあたり優渥の聖旨を賜り恐懼措くところを知らず臣等殊遇に感激し信倚愈々重きを念ひ心力を竭して忠節を勵み股肱の本分を全くせんことを期す

昭和七年一月四日

陸軍大臣　荒木貞夫

（海軍大臣の奉答文右に同じ）

大連在鄕軍人聯合分會

大連在鄕軍人聯合分會の勅諭下賜五十周年記念式は四日午前九時卅分から埠頭事務所五階會議室で開かれたが會員約二百五十名參集非常な盛會であつた、式は鍋島聯合分會副長の開會の辭にはじまり一同君ケ代を齊唱後明治天皇の御眞影を拜禮、次いで岩井聯合分會長勅諭を捧讀し誓詞を朗讀、更に鈴木新軍會長の訓示を傳へ、なほ分會長としての訓示を述べて降壇、一同聲高らかに會歌を合唱し牧野海軍少將の發聲にて聖壽の萬歲を唱へ鍋島副長の閉會の辭あつて同十時三十分閉會した、更に式後一同は別室に設けられた宴會場に赴き立食の宴に移り杯をあげてけふの日を祝ひ三々五々散會した

旅順でも祝賀

勅諭御下賜五十周年記念に當る四日午前九時から旅順在鄕軍人分會では衛戍社において全分會員及び青年訓練所員參列の上遙拜式の後大塚分會長の勅諭捧讀、伊澤理事の誓詞朗讀あり、分會長の訓示、講演あり、終つて記念撮影を濟み正午散會した、又海軍無線電信所にても同刻一同遙拜式の後佐藤所長の勅諭捧讀、誓詞朗讀あり軍歌を高唱、陛下の萬歲を三唱散會した

東鄕元帥が今夜放送

【東京四日發】今四日は軍人勅諭御下賜後滿五十年に相當するので AKでは東鄕元帥に囑してその記念放送する事となつた、元帥は明けて八十六歲の老齡の軀を提げて國難多事の際奮起して國民に勅諭の聖旨を說き國民士氣を促す事となつた、因に元帥の放送は今夜七時半から麴町の元帥邸の日本座敷にマイクを備へつけ元帥は通常禮裝の正裝で直立不動の姿勢で放送される

新入營兵着期

旅順重砲兵大隊、獨立守備隊、衛戍病院看護兵、關東衛戍病院看護兵、工兵等約三百五十名の新入營兵は來る八日入港のうらる丸で着連の豫定

カフエーの女將　ガス自殺

極度のヒステリーで

二日午前五時ころ市内連鎖街某カフエーの女將土井たみ子（三二）は自分の寢室に瓦斯管を引入れ窒死しているを同家の女給が發見、小岡子署で檢屍したが原因は極度のヒステリーで夫の不在中覺悟の自殺を圖つたものである

哈市露支人の衝突事件

銃聲なほ物凄く　暗黑恐怖時代

多數の死傷者を出した巡警隊は

張學良系が主體

【ハルビン三日發】群衆の奇襲的逆襲を懼れる支那巡警隊は三日午後五時に至るも斷續的に各所で發砲し市民を戰慄せしめてゐるが、群衆に對しピストル小銃を亂射して多數の死傷者を出さしめた巡警隊は張學良系の者が主體となつてゐる、なほ巡警隊の發砲する銃彈は物凄い音をたてゝ飛來しつゝあり今やハルビンは暗黑恐怖時代を現出してゐる

在留邦人の夜間外出を禁止

【ハルビン四日發】白系露人群衆に發砲しキタイスカヤ街の白雪を血に染めた支那巡警が三日夜に入ると共に益々兇暴を極め人影さへ見れば發砲し市中は危險此の上なき狀態に陷つた、ハルビンの治安は支那巡警のため却て紊亂されてゐる、日本總領事館は在留邦人の夜間外出を絕對禁止し不時の災厄を未然に防いでゐる

五項の要求を支那側に提出か

市民の名において

【ハルビン三日發】三日の不祥事一件につきロシア人は市民の名のもとに支那側に左の要求を提出して飽くまで所期の目的を達すると鼓譟してゐる卽ち

一、警察長官を免職すべし
二、發砲巡警の處罰
三、外國軍隊のハルビン駐屯
四、監禁ロシア人の卽時解放
五、不祥事調査の爲め國際委員會を設けること

素質低劣な巡警を恐る

【ハルビン三日發】支那警察は武裝警官總出動して日沒午後五時を期し事件突發の中國大街の人馬の交通を全く遮斷して警戒し多數のロシア町は殺氣立つ素質低劣な巡警の暴行を恐れて一齊に消燈し息を殺して平安なれと合掌してゐる有樣は悲慘である、なほさしも繁華な中國大街も日沒と共に暗黑の死の町の觀を呈してゐる

死體を擔ぎ込み　白系露人の保護を訴願

わが哈市總領事館に

【ハルビン三日發】白系露人は支那官憲が白系露人を濫りに壓迫しても斷じて保護して異れないと斷じ本日の不祥事件の際支那巡警に頭蓋骨を粉碎されて無殘の最後を遂げた死體を我總領事館に擔ぎ込み人道上白系露人を保護され度しと訴願して來た

不安に戰く　わが同胞

【ハルビン三日發】三日の不祥事件突發と共にハルビン郊外に於ても支那巡警に憤慨するロシア鐵血團は警備手薄の場所を狙つて襲撃しつゝあり、銃聲所々に起りつゝある折柄郊外に猖獗する馬賊兵匪がこの紛擾を絕好の機として夜間掠奪を開始せんとも圖り難く市民はいよいよ不安に襲はれてゐる、なほ支那側では邦人の生命財産は完全に保護すると稱してゐるが日本總領事館と大書し日本國旗を掲げた自動車に故意に發砲してこれを損傷せしめてゐる事實もあるので內鮮人七千名は夜間の外出を避け萬全の策を講じてをり我官民も本日の不祥事件に依り異常に緊張してゐる、他方ロシア總領事館では自國民の遭難者の調査を始めた

ロシア側の死傷者判明

【ハルビン三日發】三日午後七時迄に判明したロシア人の死者五名重傷廿二名であるが支那側では死傷者を隱蔽してゐる形跡があり、この外死傷なほ多數と推定されてゐる

嚴重取締

定員外入場

大連署から映畫館に通達す

新裝成つた大連映畫館の正月興行の競爭は激甚を極め時節柄活動見物以外に慰安はないといふのでどの館も大入滿員の盛況を呈し從つて規則を破つて定員外の客を收容してゐたが、大連署保安係では正月三日間は反則を大目に見るも四日から嚴重に取締ることゝなり、この旨各館主に通達した

野菜倉庫の失火原因

煙草の吸殼

市内信濃町野菜市場倉庫の火災は原因に疑はしい點あり大連署で關係者多數を召喚取調中であつたが四日朝に至り市内西通九〇番地連泰恒方の店員張殿雲（三二）外二名が同倉庫で煙草を喫し不用意に吸殼を遺棄して立ち去つたのが紙屑に燃えついたものと判明、張外二名は失火罪で告發される模樣である

『スポーツ日本』の名を中外に揚げよ

日本選手の活躍を期待される

【下】

國際オリムピック

冬季競技

冬季競技のスキーとスケートは二月四日から十日間に亘つてアメリカのレーク、プラシットで行はれる事となり、わが代表選手スキー十名、スケート六名に各役員が附添ひ十二月二十四日橫濱出帆の氷川丸で征途についたが、その成績はどの程度まで期待出來るであらうか

スケートは今回がオリムピックへの初登場である、他のすべての競技がさうであつたやうに初出場の競技には大きな期待が持てないが、スピード・スケーティングには或る程度の望みがかけられやう今回大會に出場する選手の中で木谷、石原、河村の三選手は昨年歐洲遠征を行ひヘルシングフォルスの世界選手權大會の檜舞臺に出場して、親しく世界の一流選手の妙技にも接してゐるので相當の成績は擧げられやう、日本の比較的有望なのは五百米と千五百米で世界の覇者ツンベルグ、エヴアンソン、バラングルド等には到底及ばないが、木谷の作つた五百米四十七秒二、千五百米二分三十三秒九はうまく行つて十位以內には入れやう フイギユア・スケートは一寸今のところ問題になるまい、これは勝敗を別にして眞のフリー、スケーテイングを見て歸るといふ事にならう

スキーは今度で二回目の參加である前回のサンモリッツの大會に參加して後イタリー、スエーデン、ノールウエの各大會に出場して貴い土産を持ち歸り更にノールウエのヘルセット中尉一行の來朝によつて、一段と刺戟され非常な進歩を遂げたわがスキー界は一昨年研究のため單獨北歐に赴いた麻生武治君をコーチに十名の選手を送つて大いになすところあらんとしてゐる

レーク、プラシットの大會で我々の最も嘱望する事の出來るのは十八粁レースであらう、日本の代表選手の體格として五十粁の耐久レースは少し無理のやうに思はれる、然し今回のメムバーは十八粁の專門選手が少いから坪川、栗谷川に加へて五十粁の選手が出る事にならう、日本の十八粁は記錄の上からいつて比較的有利で外國が五十粁に主力を注いでゐる關係上意外の好成績をもたらすかも知れぬ、然しノールウエ、フインランド、スエーデン三ケ國の壘を摩す……

漕艇

其他の競技

天氣豫報

南西の風晴後曇

五日

各地溫度

	四日午前十一時	三日最低
大連	九、一	一、〇
旅順	七、〇	一、〇
營口	五、四	零下六、八
奉天	三、六	同八、九
長春	零下六、一	同九、五

けふの小洋相場（正午）

金百圓は一五四圓九〇錢

武門血笑記 (14)

下村悅夫作　布施長春挿畫

地獄の一丁目(二)

「まま……そ、そんなッ」

餘りの事に、吃驚仰天した柳庵手足を泳ぐやうにふらふらさせてガタガタ慄ひだしながら、意味の通じないやうな事を口の内で呟く

「こう、こう、ぢたばたするれえッ」

と、駕籠脇の若者が、冷たい匕首の腹で、ピッチヤリ、柳庵の頬を輕く叩いて、

「從順しく、こちとらのする通りになつてゐりや、何も命を取らうてんぢやれえんだから、いゝかッ」

「用事が濟みや、けえしてやるんだから」

と、口々に云ひながら、寄つて集つた。慄えてゐる柳庵を後ろ手に縛り上げ、目隱しをし、猿轡を箝ませ、もとの駕籠の中へ擔ぎ込んだかと思ふと、駕籠は二三邊、同じ處を、ぐるぐる廻つて、そのまゝ、田舎道を、宙を飛んで走り出した。

柳庵を乗せた駕籠が、どつたりと、地面の上に下されたのは、それから、小半時も經つたと思はれる頃であつた。

生きた心地もなく、駕籠の中で慄え續けてゐる柳庵の耳に、開き戸の開く音や、カタコトと、建付の悪い雨戸の開く音がしたかと思ふと、

「さあ、出ねえ」

荒々しい聲と共に、引摺り出されたのは、ぷんと黴臭い臭ひのする大きな建物の中――。天照院の内玄關であつた。

「おつ、そつそつと、履物は脱いで上がるんだ」

「仕方ねえ、さんだ由良さんだ」

兩脇から、柳庵を抱へるやうにして引立てた二人の若者は、こんな軽口を叩きながら、幾つかの部屋を通り抜けると、

「姐御、今歸りました」

と、改まつた挨拶をした。

「あいよ、御苦勞だつたね。さあそのお客さんの、目隱しと、轡を解いておやり」

柳庵の耳には、思ひもかけない透き通るやうな、歯切れのいゝ、女の聲が――。

「へえ」

と、乾分の者が、聲に應じて、柳庵の、目隱しと、猿轡と、後ろ手の縄を解く。

と、柳庵、不意に眼の前に、水蓮の花がぽつかり咲いたやうな、おれんの美しい姿に、思はず、

「はあッ」

と、聲を上げて、べつたりと、其處に坐つてしまつた。

「ホホホ……夜中に、お騒がせして濟みませんでしたわねえ……」

と、おれんは柳庵の呆氣に取られた頓狂な顔を、見ながら、嫣然と笑つて、

「一寸、急に、病人の容態が悪くなつたものですからね」

「こ、ここは、どなた様のお宅で……」

柳庵はやつと、人心地が着いたらしく、おづおづと口をきく。

「ほほ……此處は地獄の一丁目よ、お前さん、このまゝ黙つて病人の手當をして下されば、お歸りには、たんと御禮をしますが、うつかり聲を立てたり、逃げ出さうとなさると、お氣の毒だが、これつきりお天道樣は……」

と、おれんは袂の下から取出した、短銃を、弄具のやうに弄びながら、

「見られませんよ」

「ひえッ……」

柳庵は縮上つて、張子の虎のやうに幾度も幾度も頷いた。

試寫を見て 心の日月

五日・帝國館

田阪具隆監督作品として「結婚二重奏」以來の堂々たるメロドラマであると共に菊池寛原作の映畫化で日活が久振りにヒットした作品でもある

原作のうまみが木村千疋男の脚色によつて充分に消化されて優れたコンチユニテイを用意したことも大きな功績である、この脚色が得た田阪具隆監督のメカニズムも亦、よく映畫的構成に緩味なく終始して寄を好まずこの大作品を完成してゐる

そのテクニックも一見平凡であるが、甚だ効果的で、事件の發端である飯田橋驛の取扱ひもいゝし、前半手紙に次いで花を以て事件を坦々と開展さすあたり素晴らしく手に入つたものである

それに際立つて好感の持てるのは皆川麗子(入江たか子)渡邊洋子(浦邊粂子)中田愼一(島耕二)みどり(瀧花久子)磯村晃(井染四郎)中田夫人(峰吟子)らの主要人物の取扱ひ方がぎこちなく、鋭角的でなく、いづれも素直で、ともすれば迫眞性を缺く誇張した演技をさらなかつたところに、お芝居らしくないこの一篇のなだらかな成功がある

これらの人々によるスタッフそのものは決してフレッシュなものでないが、この一篇に清澄な感覺を與へ得たことは田阪具隆監督の功績である

また伊佐山技師のカメラも「結婚二重奏」の如きソフトフォーカスによる軟調味がない代りに明快なことは現像燒付の良さも手傳つて部分的な技巧の失敗を除けば好調を持續してよくクランクされてゐて、久し振りに接する菊池寛物らしい原作の味が各場面にひしひしと迫つて來る日活現代劇映畫で、セットとロケーションの思ひ切つて贅澤なことも氣持よく見られる

大日活實演 五日まで 映畫は第二週

大日活に出演中の東活現代劇幹部俳優總出演の實演「出征夜話」は今四日限りの豫定であつたが、初日以來好評を博してゐるので明五日まで一日だけ日延べ上演することになつた、映畫はコロムビア映畫「アフリカは語る」及び新興キネマ現代劇「酒は涙か溜息か」及び阪妻映畫「牢獄の花嫁」前篇を上映する

なほ沿線日程は六、七日旅順昭和園、九、十日長春演藝館、十一日公主嶺軍隊慰問、十二、十三四日奉天館、十五、六日撫順黎明キネマである

河合映畫 寶館契約 七日から上映

元旦から大連支社を開設した河合映畫では舊臘協和會館にて慈善映畫會を催し映畫街進出を圖りつゝあつたが今回寶館との間に上映の契約が成立し來る七日から河合映畫が再び寶館のスクリーンに現はれることゝなり、問題視されてゐた松竹日活の内檢切れは第二週限りで七日からは河合現代劇琴糸路主演「女工」時代劇葉山純之輔、五味國枝主演「森の石松」及「江戸ッ兒鍵法」を上映することに確定した

大連 JQAK

一月四日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時十分　ニュース
(以下内地中繼六時三十分)
▲記念講演「勅諭五十周年記念に就て」元帥海軍大將伯爵東郷平八郎
(以下大連放送局より七時)
▲義太夫「假名手本忠臣蔵山科の段」淨瑠璃藤本富士、三味線竹本佐太夫
▲地唄「尾上の松」箏 編森勾當、尺八 本郷義傳
▲落語「梅にも春の由來」柳川獣助
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

大連各市場けふ初立會

株式軒並に暴騰し なほ先高人氣旺盛

五品一七圓三、東新一七〇圓

今朝初立會の諸株とも軒並に暴騰した——卽ち今朝北濱定期大株、大新、鐘紡、鐘新とも六圓乃至八圓高、同短期大新六圓四十錢高、東新九圓三十錢乃至十一圓九十錢高、東京短期も東新八圓九十錢高を入れたるため當市一方に利喰ひ急ぎも見受けられたが新規買殺到して定期において五品一圓七十錢乃至二圓三十錢高の高値七圓三十錢、新豆一圓十錢、乃至一圓五十錢高、錢鈔一圓乃至一圓五十錢高、滿鐵新二圓六十錢高、東新十圓高の百七十圓丁度、鐘新五圓高、大新八圓三十錢高、延取引において五品一圓三十錢乃至一圓八十錢高の高値十六圓五十錢、新豆一圓二十錢乃至一圓五十錢高、錢鈔一圓乃至一圓二十錢高、滿鐵新一圓七十錢乃至二圓高の高値三十四圓二十錢と一齊に暴騰し出來高も定期一千七百株、延取引三百三十枚の多額に上つた、而してこの春高相場は第一に日本における這次の金價値變動が一時的のものにあらず議會解散さるゝも問題は勝敗よりは政友會が絕對多數を占むるや否やに懸ると觀測され、而も政權が那邊に落付くにせよ、金輸出解禁は到底望まれず、將來解禁するにしても新平價切下げを行ふより外なかるべしとの觀點より株高を招來したものと思はる、尙一面新滿洲の形勢において從來權利の上に眠り居りたる我が既得權益が今後發動すべしとの觀測も亦株高の一有力原因として見逃せないであらう、そこで目先相場の綾はともかく大勢は依然として株高を見越す向が多い

近物先物とも廿片十六分の五（近物十六分の五高、先物八分の一高）孟買六十二留比八分の一（十六分の一高）上海標金休會、而して日米爲替は三十四弗二分の一と二弗二分の一安、米日爲替三十五弗丁度と二弗五十仙安、米英クロスも四十仙八分の三（二仙八分の七安）と一齊に暴落を入れたるも、當市は大納會直前、採算においても人氣においても爲替卅四、五弗どころの相場を出してゐるのみならず時局懸念の中心問題たる錦州陷落も旣に謳ひ盡くしてゐた、そこでこれら豫想材料が現實となりしため、初立會の氣分は一段と殺がれ氣迷濃厚裡に大納會引値より一圓七十五錢安の七十三圓十錢とボケて寄付き七十二圓七十錢まで下値ひ七十三圓七十錢に引けた、目先はなほ當分氣迷ひ裡に揉合ふとみる向が多い

綿糸布爆發し 麻袋も急騰

出來高、開市來の記錄

商品市場の麻袋及び綿糸布も爆發した——先づ綿糸布は米棉五安見當ながら爲替奔落と、株式暴騰のため大阪三品綿糸定期六、七圓高の報を入れて當市利喰物と新規買殺到して大取組を見、出來高一千五百九十梱といふ定期市場開市以來の新レコードを示した、而してアト小緩んだが一般に先高見越旺盛にて買氣も亦著るしく潛在してゐる、次に麻袋も舊臘中上げ足遲かつただけに相場の爆發を見、而も春高人氣强く一面需要も加はるので一段と高値を見込む向が多い

豆油軟調のほか 各品暴騰す

けふの大連特産市場

初立會の四日前場の大連特産市場では銀安と內地期米高及南支筋の買長等幾多の强材料を眺めて大豆豆粕、高粱は一氣に棒立ちとなり大豆は十一錢乃至十五錢高、豆粕四錢乃至六錢五厘高、高粱は十錢高にそれ〲暴騰を演じ、豆油のみ人氣添はず軟調を辿つた、南支筋の買氣も猛烈であるが內地向の買物も多く、右は單に期米高に刺戟されたばかりでなく、年末、年始の休會中に於ける取引の手當によるものと信ぜられ今朝の高値も要するに行過ぎの感があると言はれてゐる、兎に角相場の變動が甚だしかつただけ、初立會早々から出來高も多く、大豆二百九十一車豆粕二十一萬三千枚、豆油一萬一千五百箱、高粱百二十六車の手合であつた、殊に現物の取引が多量であるのは注目に値し、大豆三百車、豆粕十四萬四千枚といつた有樣である

鈔票ボケる

材料を謳盡し

鈔票はボケた——海外材料は紐育銀塊三十仙八分の三（同事）倫敦

けふ五品の初立會

黃塵

◇…三日午前十時四十分皇軍の錦州入城によつて一先づわが軍事行動は終末を告げたといつていゝ。

◇…これよりは滿蒙三千萬の全民衆がその堵に安んずべき自由と平和の樂土たらしむる平和的建設が殘される。

◇…しかもその事たる容易なるが如くにして決して然らず、今後幾多の困難が續出するであらう

◇…資源の豐富を誇る滿蒙の經濟的發展も海外の材料を無視するわけにはゆかない。

◇…世界財界の動搖は今に至るも熄まないのみか却て甚だしいものがある。

◇…世界經濟共通の不景氣風が滿蒙のみを避けて吹くわけがない

◇…いふ迄もなく新年の意義は戶毎に國旗を揭げ飮み且つ歌ひて足れりとするものではない。

◇…こゝに昭和七年の新春を迎ふるに當り自ら心を新にし自ら弛緩を改めて絕えざる緊張の下にこの經濟的難局を打開すべきであらう。

市況（四日）

特産 銀安と買長で三品暴騰

年首初立會の本場銀安と期米高及南支筋の買進み等强材を眺め大豆豆粕、高粱は一氣に棒立ちとなりて暴騰を演じ豆油の添はず軟調を辿つた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	四七六〇	四八四〇	四七六〇	四八四〇
二月末	四八六〇	四九六〇	四八三〇	四八九〇
三月末	四九三〇	五〇四〇	四九三〇	五〇三〇
四月末	五〇六〇	五一三〇	五〇五〇	五一三〇
五月末	五一四〇	五二五〇	五一三〇	五二三〇

出來高 二百九十一車

▲三等大豆（出來不申）

▲豆粕（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一六七〇	一七〇〇	一六七〇	一七〇〇
二月限	一六八〇	一七三〇	一六八〇	一七三〇
三月限	一七一五	一七五〇	一七一五	一七四五
四月限	一七四五	一七七〇	一七四〇	一七七〇

出來高 二十一萬三千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一三四〇	一三四〇	一三三〇	一三四〇
二月限	一三四五	一三五〇	一三四五	一三五〇
三月限	一三六〇	一三六〇	一三六〇	一三六〇
四月限	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇	一三〇〇
五月限	一三一〇	一三一〇	一三一〇	一三一〇

出來高 一萬一千五百箱

▲高粱（暴騰）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月末	二八七〇	二九二〇	二八七〇	二九二〇
二月末	二九九〇	二九九〇	二九八〇	二九八〇
三月末	三〇九〇	三一五〇	三〇九〇	三一五〇
四月末	三一八〇	三二四〇	三一八〇	三二四〇
五月末	三二六〇	三二六〇	三二三〇	三二三〇

出來高 百二十六車

▲包米（出來不申）

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保（袋込）大豆（裸物）	四七五〇	四八五〇

出來高 三百車

	寄付	大引
普通（袋物）大豆（裸物）	四六九〇	四七四〇
出來高	十車	
豆粕	一六五〇	一七〇〇
出來高	十四萬四千枚	
豆油	一二四〇	一二四〇
出來高	七千箱	
高粱	二九三〇	二九二〇
出來高	十二車	
包米	三〇五〇	三〇五〇
出來高	五車	

定期喰合高（廿九日帳入）

		前日對比增減
大豆	五一六七車	△五二五車
高粱	一〇三二車	△二七車
豆粕	四三二〇千枚	一〇五千枚
豆油	四七七〇百箱	一三〇百箱

豆 初立會の今朝、銀安と內地期米高及南支筋の買長等幾多の强材を眺め▲大豆、豆粕、高粱は一氣に棒立ちとなりそれ〲暴騰を演じ高粱のみ軟調を辿つた▲御祝儀相場の名にふさわしく相場の變動が甚だしかつただけ取引高も多く新年早々先づ同慶とする▲現物大豆は油坊二百十車、邦華商九十車で三百車の手合せで永行六十車、成發由四十車、福順厚三十車の賣物があつた▲二日から六日迄の豆粕生産高は六十八萬六千枚である

銀 爲替は日米、米日とも二弗半安と豫想通り暴落した▲然し大納會前において三十四弗どころの相場は旣に出してあり▲それに休日中に錦州が陷落することも旣定の事實として織込み盡くしてゐた▲そこで爲替三十四五弗、錦州陷落の材料を入れた初立會は自らボケざるを得ず寧ろ軟弱に終つた▲かくして初立會はだれたが場のためには一時考慮期間を與へられた意味で結構であり▲極端な强氣弱氣とも年頭に當り今一度深甚の計慮をめぐらしてほしい

株 大體豫想通りながらダン然軒並に暴騰し御祝儀商內などはケシ飛んでしまひ昭和七年度を迎ふるに適はしい活氣橫溢した初立會だつた▲なかには行過ぎの感を有たれないでもないが▲元來金價値の變動を一つの根柢とし如何なる場合にも金解禁は殆ど見込まれず▲例へ解禁するにしても新平價切下げを行ふより外ながらうといふことゝ▲新滿洲に於ける既得權益確立といふことが他の根柢となつてゐるだけ▲目先はともかく大勢は株高とみるべきであらう

糸 商品市場も亦非常に活氣溢つた初立會振を見せ綿糸出來高の如き一千五百九十梱といふ新記錄を出した▲而して綿糸相場は米棉五安ながら爲替暴落と株式爆騰のため大阪三品六七圓高を入れて當市利喰ひと新規買殺到した▲あと小緩んだが先高見越にて買氣大いに潛在してゐる▲次に麻袋は舊臘中上げ足鈍かりしだけに春高人氣旺盛にて爆騰し▲なほ需要愈々起るので一段と先高を見越されてゐる

錢鈔 爲替安利かず 當市氣迷軟弱

今朝日米爲替は三十四弗二分の一（二弗二分の一安）米日爲替三十五弗丁度（二弗五十仙安）と暴落を報じたるも當市は大納會間近に三十四五弗相場を出し錦州陷落も謳ひ盡してゐるので氣迷ひ弱含を呈した、紐育銀塊同事、倫敦銀塊も小緩り、上海標金休會、米英クロス四十仙八分の三（二仙八分の七安）滙申七十四兩四七五、滙烟七十兩五〇、大洋百一圓二十錢

◇定期前場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	七三三〇	七四一〇	七三七〇	七三七〇

出來高期近五百五十二萬圓

◇現物前場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	七三一〇	一二六〇	一五五四〇
十時	—	一二三〇	—
十一時	七四〇〇	一二六〇	一五五〇五
十二時	七四〇〇	一二三〇	一五四九〇

出來高（銀對金）十五萬三千圓（銀對洋）五萬三千圓

株式 當市暴騰

今朝初立會は內地主力株一齊に軒並暴騰を入れたので當市祝儀商內を吹飛ばし新規買と利喰ひ殺到し活氣漲る、定期において五品一圓七十錢乃至二圓三十錢高、新豆一圓十錢乃至一圓五十錢高、錢鈔一圓乃至一圓五十錢高、滿鐵舊二圓高、滿鐵新二圓六十錢高、東新十圓高、鐘新五圓高、大新八圓三十錢高、延において五品一圓三十錢乃至一圓八十錢高、新豆一圓二十錢乃至一圓五十錢高、錢鈔一圓二十錢高、大新五圓高、東新四圓五十錢乃至六圓高、鐘新三圓高、滿鐵新一圓七十錢乃至二圓高、出來高定期一千七百株、延三千百三十株

前場 ◇定期

銘柄		當限	先限
豆信	寄	—	五二〇
	引	—	—
新豆	寄	一九九	一九八
	引	一九五	一九六
錢鈔	寄	二一五	二二〇
	引	二一五	二一九
氷舊	寄	—	六一
	引	—	四
氷新	寄	—	二一
	引	—	〇
滿鐵舊	寄	—	六
	引	—	五
滿鐵新	寄	—	三四五
	引	—	—
東新	寄	—	一七〇〇
	引	—	—
鐘新	寄	—	一〇一〇
	引	—	—
大新	寄	—	八三四
	引	—	—
五品	寄	一六九	一七三
	引	一六九	一七三
	歩	一六七	一六八

滿鐵株（急騰）

▲東短前場 滿鐵新株 三十四圓八十錢

▲大阪現物 滿鐵舊株 六十五圓十錢

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	一六〇	一六五	一六〇	一六五
新豆	一二八	一三二	一二九	一三〇
錢鈔	一二一	一二一	一二一	一二一
氷新	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
大新	八〇五	八〇五	八〇五	八〇五
東新	一六九〇	一六九〇	一六七五	一六七五
鐘新	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇
滿鐵新	三三九	三四二	三三九	三四二

商品 綿糸布暴騰 麻袋急騰

今朝米棉は五安なるも大阪三品六七圓高を入れ、當市も株式暴騰と爲替暴落を眺めて綿糸布奔騰し商內大いに彈んだ、麻袋も春高人氣にて急騰しなほ先高を見越さる

▲綿糸定期

出來高 一千五百九十梱

▲綿糸延

銘柄	約定期	値段	數量
福助	三月限	一三六〇	二五

出來高 二十五梱

▲麻袋定期

銘柄	約定期	値段	數量
織筋	一月	二九〇	二
同	二月	二八二	二
同	三月	二七二	二
同	四月	二七五	一〇
同	五月	二六七	二
同	六月	二六〇	二

出來高 二萬二千枚

▲印度麻袋 休會

手形交換高（四日）

	枚數	金額
金	三三六〇枚	一、九〇九、九二四圓
銀	三三一枚	一、二二二、三八八圓